

平成 21 年 4 月 14 日

各 位

岩手大学農学部附属寒冷バイオフィロンティア研究センター  
教授候補者選考委員会 委員長 伊藤菊一

附属寒冷バイオフィロンティア研究センター教授候補者の再公募について

拝啓

春暖の候、貴台におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、本学農学部附属寒冷バイオフィロンティア研究センターにおいて教授候補者を下記により再公募することとなりました。

つきましては、貴機関内に適当な候補者がおられましたなら、応募下さるよう周知方ご高配を賜りたくお願い申し上げます。

なお、貴機関以外の方でも適当と思われる方がおられましたならば、ご推挙戴ければ幸甚に存じます。

敬具

## 1. 教員の職名および人数

農学部附属寒冷バイオフィロンティア研究センター 教授 1名

## 2. 概要および職務の内容

本学農学部附属寒冷バイオフィロンティア研究センターは、平成20年4月に時限(10年間、2018年3月まで)付きで設置された新しい研究センターです。本センターは、「寒冷環境における独特な生命活動を、最先端の現代科学を駆使して追求するとともに、その成果を地域社会に還元しながら、『温度と生命反応』に関する研究教育成果を世界に向けて発信する」ことを目指しています。4研究分野(寒冷発育制御研究分野、生命適応機能研究分野、生体熱制御システム研究分野、細胞遺伝応答研究分野)から構成され、教員8名(教授4、准教授3、助教1)が配置されています。

本公募は、寒冷発育制御研究分野 教授(1名)を採用するためのもので、寒冷バイオフィロンティア研究センターの運営に携わるとともに、独創性の高い優れた研究を推進し、農学部、農学研究科バイオフィロンティア専攻(修士課程)並びに、連合農学研究科(博士課程)における教育に積極的に関与していただける方を募集します。着任後は、農学部専門教育科目、本研究センター担当の講義科目(科学技術英語特論など)全学共通科目の授業、および修士・博士課程における学生の研究指導を担当していただきます。なお、着任後、学部および大学院(修士・博士課程併せて5年)における一貫した教育を担当できる方を歓迎します。

## 3. 選考方針

本選考では、博士の学位を持ち、生命科学分野において優れた研究業績を挙げている方で、着任後、寒冷バイオフィロンティア研究センターの設置目標に沿った研究教育活動を行うことのできる方を求めます。また、寒冷バイオフィロンティア研究センターの運営管理に積極的に関与する意欲のある方が望まれます。なお、選考は、岩手大学農学部教員選考規定(<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/~icg-1/CFRC/saiyou/0841240.pdf>)に基づいて行われます。

## 4. 着任時期

平成21年10月1日以降のできるだけ早い時期。

## 5. 待遇など

国立大学法人岩手大学職員就業規則による。

## 6. 提出書類

以下の書類を(1)郵送(封筒に「教授候補者応募書類在中」と記す)あるいは、(2)e-mail(件名を「教授候補者応募」と記載し応募書類をpdfファイル形式で添付する)のいずれかの方法で提出してください。送付先の住所およびメールアドレスは下にあります。

- 1) 履歴書(様式自由、メールアドレスを必ず書いてください)
- 2) 研究業績目録(原著論文、総説、著書、特許、その他参考となる事項に分けて記す)
- 3) 獲得した外部資金の概要

- 4) 主要論文別刷（各1部）5編以内（コピー可）
- 5) これまでの教育研究の概要（A4用紙1枚程度）
- 6) 着任後の教育研究に対する抱負（A4用紙1枚程度）
- 7) 応募者について問い合わせが可能な方の氏名・所属・連絡先（2～3名、メールアドレスも書いてください）

7. 面接

選考の過程で応募者の来訪を求め、面接などを実施することがあります。この場合の経費は自己負担していただきます。

8. 提出期限

平成21年5月31日 必着

9. 書類提出先

〒020-8550

盛岡市上田三丁目18-8

岩手大学農学部附属寒冷バイオフィロンティア研究センター教授候補者選考委員会  
委員長 伊藤菊一

E-mail: cryo@iwate-u.ac.jp

10. 問合せ先

〒020-8550

盛岡市上田三丁目18-8

岩手大学農学部附属寒冷バイオフィロンティア研究センター  
伊藤菊一

電話・FAX : 019-621-6143

E-mail: kikuito@iwate-u.ac.jp